

# 復興支援フォーラムニュース No.82

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 ([tkonno67@gmail.com](mailto:tkonno67@gmail.com))

## 福島の子どもたちに寄り添いながら

うつくしまふくしま未来支援センター

こども・若者支援部門こども支援担当

本多環

### 1. はじめに

### 2. 避難を強いられた子どもたちとの出会い

- 「土曜子どもキャンパス」での  
子どもたちの気になる姿

- 「悪い子？」ではなく  
「困っている子？」

「寄り添った支援」が必要

#### 「悪い子？」「問題児？」

- 大きな不安を抱えている子
- 「困り感」が絡み合っている子
- 自分の気持ちをうまく表現することができない子
- 寂しくて誰かにそばにいて欲しい子
- 自分の居場所が欲しい子
- 自分の気持ちをわかって欲しい子…



#### 「困っている子」

まずは子どもたちのありのままの状況を受け止めよう  
子どもを理解することができるように寄り添ってみよう



### 3. 原発事故発生後の子どもたちの状況

- 避難した子どもたち
  - ・ 故郷の喪失
  - ・ 学校環境の変化
  - ・ 家庭環境の変化

#### 学校環境の変化

- 学習内容の変化(学習の空白)
- 交友関係の変化
- 学級環境の変化
- 担任との関係性の希薄化
- 通学状況の変化



#### 故郷（地域）の喪失

- 仲間との喪失
- 居場所の喪失
- 活動場所の喪失
- 斜めの関係の喪失



#### 家庭環境の変化

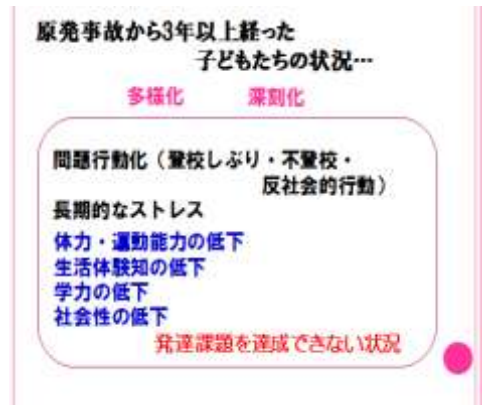
- 家族の分断
- 親子関係の変化
- 居場所の喪失
- 学習の場の喪失
- 生活に関わるルールの変化
- 道徳の変化



- 避難をしなくても・・・
  - ・ 学校環境の変化
  - ・ 家庭環境の変化
  - ・ 地域の変化

#### 4. 子どもたちの現状

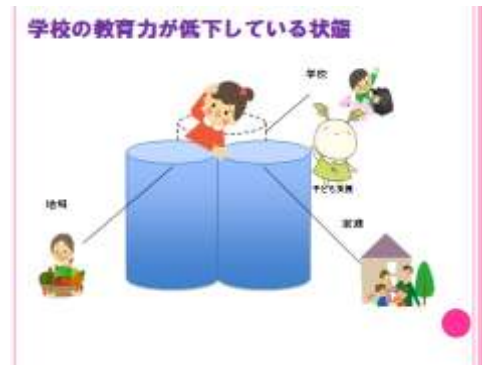
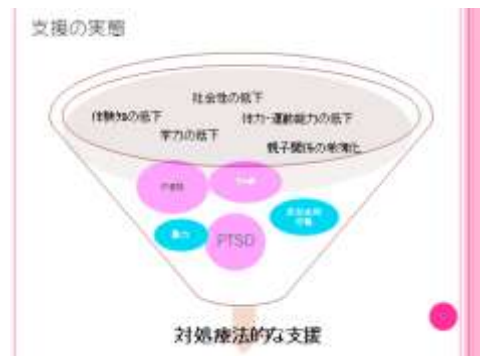
- 原発事故後3年以上
  - ・ 多様化
    - 「避難先で居場所を見つけることができた子ども」
    - 「未だ、苦戦し続けている子ども」
  - ・ 深刻化
    - 「困っている子ども」から「困った子ども」へ



- ・ 表面化  
様々な力の低下

#### 5. 今後の支援

- 学校教育力  
家庭教育力  
地域教育力 の向上を目指して



## 第79回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

11月20日、第79回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。

今回は、洪浩彰氏（いわき麻酔と痛みのクリニック院長）から、「医療側から見える医療体制の崩壊 ～いわき市在住一麻酔科医からの報告～」について報告がなされました。

24名が参加し、熱心な質疑応答がありましたが、会場で文書提出されたものは、以下の通りです。

~~~~~

★ 医療現場の過酷さは想像を絶するものがあるのだと思います。日本の社会問題、人口減少、過疎化、人材不足にプラスして福島には原発の影響があまりにも大きく、避難の問題そして帰還してもなお問題が生じます。解決のキーワードは、セルフケアと地産地消（医者、看護師も）なのかなと思います。（H.S）

★ 貴重なお話ありがとうございました。昨年の研修医のマッチングでは94名（福島県）、看護師の方の話でもありましたが、福島のために力を尽くしたいとの一定の表れであったと思いますが、今年はまた元に戻ってしまったように聞いています。この点でも“忘れられない”継続性が重要だと・・・また、そういう思いで福島に来てれた若い人の“思い”に応えられる体制の構築も、また求められているのかなと思いました。ありがとうございました。（K.S）

★ 医師が不足傾向にある我が国の医療機関における医師数の地域格差、実態と地域による偏在傾向について、興味深く拝聴いたしました。また、医師の人材育成機関である医科大学における「新たな育成システムの提言」は、切実な問題であると思いました。（K.F）

★ まず、様々なセクターのプレイヤーの話が出ていることに驚いた。その上で、各セクターやプレイヤーが、各自規律やモラルを重視して、物事に取り組みれば、社会はもっと上手く回るのではないかと痛感した。当たり前のことを当たり前にする社会がなくなっている現状は早く解決したい。（D.T）

★ 論旨明快、データの裏付けを伴った実に有益で優れた発表であった。論議も実に密度が高く、取り上げられた論点は、いずれも重要な問題であった。医療体制をとりまくもっと大きな論点（国際化TPP、介護制度＝少子高齢化がらみ）も、次の機会にまた触れてもらいたかった。（S.I）

★ これからの福島、そして日本の医療体制の構築が必要だと思います。フリーランス、医療のビジネス化が医療を滅ぼしているものと思います。（M.T）

★ 色々議論を振ってしまい、申し訳ございませんでした。福島の医療衰退の現状を、しっかり捉えることができました。この現状を打開するためには、医療従事者全体が当事者意識を持って、医療制度を変えなければ（質を保障する勉強の機会を含めて）医療復興はないと考えていますが、更にその思いは強くなりました。（J.H）

★ 福島の医療状況をリアルに伺えて、先生が大変ご苦労された様子がわかりました。内容はよくうなずけるものでした。国の政策によって、医師を含む医療者が十分力を発揮できないのは残念なことである。今後も、先生が言われるように、「悩みながら道を探っていくことしかないこと」を多くの方と、力をつなぎあわせてやっていけると良いと思います。（M.S）

★ 医療の世界。そこも問題山積の世界。これからも頑張っしてほしい。（Y.M）

★ 震災前から様々な困難が福島・そしていわきにあったことがわかりました。質・能力が高い医師・看護師が福島に来て、活動したいと思えるような環境に福島になってほしいです。何度もいいますが、これからの福島の復興に必要なものは、医療と教育です。その他にも腑に落ちる点がいくつもありました。(Y.I)

★ 医療実態のあまりのきびしさに唖然とさせられた。展望はとても出せないのですが、「結」部分としたディスクロージャーの徹底化が一つなのか？医局制度の復活は、功罪あるのではとの印象です。ともかく大変だ！！(S.M)

~~~~~

【フォーラムへのご寄付に感謝しております。2014.7～】

会場カンパ (7/17) 18,280円、宮城保険医協会有志様 (7/19) 20,000円、  
ESS 福島の集いの会様 (11/20) 12,000円

~~~~~

【ふくしま復興支援フォーラムの今後の予定】

~~~~~

【予告】第81回フォーラム 2014年12月18日(木) 18:30～20:30

「旧警戒区域復興への挑戦」

報告者：藤田 大 氏(株式会社鳥藤本店専務取締役)

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ (アオウゼ)」大活動室1

~~~~~

【予告】第82回フォーラム 2014年12月26日(金) 18:00～19:30

『福島のいま』を伝えつづけて」

報告者：佐藤 政男 氏(元徳島文理大学教員・福島市在住)

会 場：福島市 キッチンガーデンビル2階 (終了後、ささやかな忘年会予定)

~~~~~

【予告】第83回フォーラム 2015年1月15日(木) 18:30～20:30

「新地町の被災の状況と復興の現段階」(仮題)

報告者：加藤 憲郎 氏(新地町長)

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ (アオウゼ)」大活動室1

~~~~~

【予告】第84回フォーラム 2015年1月29日(木) 18:30～20:30

「食と農でつなぐー福島・女性農業者の取り組み」

報告者：岩崎 由美子 氏(福島大学教授)

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ (アオウゼ)」大活動室1

~~~~~